



札幌西支部

小野 成図  
Shigeto Ono

5月の連休明けに、本原稿の依頼を受け、何を書こうか迷いましたが、連休中に家族で行ったレゴランド名古屋のレポートをさせていただこうと思います。

会員読者の皆様でご存じない方も多いと思います。レゴランドとは、おもちゃのレゴブロックを販売するLEGO社が開設した屋外型テーマパークです。1968年にデンマークで初開設され、現在世界7カ国（8ヶ所）に存在しています。国際ブランドのテーマパークであり、入場料（大人6,900円）が、東京ディズニーランド（TDL）（大人7,400円）やユニバーサルスタジオジャパン（大人7,600円）と同水準のためか、これらと比較されがちですが、決して比較してはいけません。

そもそもアトラクションの対象年齢が2歳から12歳と低いため、アトラクション、施設、営業時間等々の面において全体的に、速くない、大きくない、高くない、広くない、長くないのが特徴で、すべてが小さな子供にとってちょうどよい程度にできているのです。TDLがおよそ札幌ドーム9個分であるのに対し、レゴランドはおよそ2個分ですから、すぐに全体を見て回ることができますし、大人も疲れません。

では、大人が楽しめないのかということそうでもありません。特にエリア内の「ミニランド」は必見であります。ここには日本各地の観光名所をレゴブロックで再現した作品が展示されています。写真は、札幌の「JRタワー／札幌駅」と「テレビ塔」ですが、北海道エリアでは、このほかに、時計台、雪まつり風景、赤レンガ道庁、北海道開拓の村、登別温泉街、地獄谷、クマ牧場、羊蹄山とスキー場(?)等々、がとてもリアルに再現されています。レゴブロックで作ったとは思えないクオリティーの高さなのです。北海道だけでもこんなにあるのですから、全国が再現されているとなると、結構見応えがあるのがわかりいただけると思います。

このほかには、レゴ工場見学でしょうか、スペースはそれほど広くありませんが、実際に使われているのと同じ機械が置いてあり、機械が動いて実際のブロックの製造過程を見ることができます。帰りに記念品として、出来たてのレゴブロックも貰えます。美術館や博物館に遊園地がついているという感覚であれば、大人でも十分に楽しめます。ネットでは微妙な評価が多いレゴランドですが、結構デマが多いと感じます。

ただ、私が行った日は連休のど真ん中、今年4月の開園後初の入場制限がかかった日で、最も混雑した日のようでしたが、施設のスタッフの方々がその混雑に不慣れで困惑している様子でした。来場者の見積りと従業員の確保という難しい現実もありますが、東京と大阪との間という地の利を生かして成功してほしいですね。

